2013-14 ROTARY INTERNATIONAL DIST. 2710

ガバナー月信

Vol. 9

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2014年 3月号

SHIMONOSEKI ROTARY CLUB

ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を

Governor's Message

『識字率向上月間』

2013-14年度
国際ロータリー第2710地区ガバナー
沖田 哲義
GOVERNOR:Tetsuyoshi Okita

地区内ロータリアンの皆さん、今日は。

今月は「識字率向上月間」です。そこで、これについての私の意見ないし感想を、以下のとおり申し述べます。

皆様、よくご存じのとおり、ロータリー財団と国際ロータリーの両方とも、活動の優先分野として、以下の6つの重点分野を採用しています。

①平和と紛争予防／紛争解決　②疾病予防と治療
③水と衛生　④母子の健康　⑤基本的教育と識字率向上
⑥経済と地域社会の発展

この6つの重点分野は、基本的には「発展途上国」に対する支援の内容を明らかにしたものだと思いますが、今月は、識字率向上月間となっていますので、この内の5番目の分野の一部を対象とする月間となっているのです。

ところで、ロータリーから出されている「ロータリーの重点分野」というパンフレットには、「基本的教育と識字率向上」についての活動として、以下の2点が記載されています。したがって、まずこれをご紹介します。

1 教師の養成

(1) 背景：低所得国の中・高教師の31%は、教師養成訓練を受けていない。

(2) あなたにできること

①教師養成研修、カリキュラム、学校備品を提供する。

②農村部でカリキュラム開発のための研修を提供する職業研修チーム（VTT）を派遣する。

(3) 活動を成功させるためのヒント

①教師が常に最新の研修や資料を受けることができるよう、教師との長期的関係を築く。

②教師養成研修プログラムとカリキュラムのデザインについて地元の教育委員会や教育局役員に相談する。

2 生徒への支援

(1) 背景：①全世界で7,500万人の子ども（そのうち4,100万人が少女）が教育を受けていない。②全世界で6億7,700万人（16歳以上）が読み書きができない。

(2) あなたにできること

①授業や課外活動のボランティアをする。

②学校給食プログラムや学校での安全な飲み水・衛生設備の利用を支援することで、病気による欠席を予防し、入学・通学しやすい環境を整える。

③集中言語能力助長（CLE）プログラムを支援する（教科書や活動を用いた低コストのこの教授法は、子どもと成人の識字能力向上に効果がある。）。

④成人向けの識字プログラムを開発する。

⑤地元の生徒たちの生活指導ボランティアをする。

(3) 活動を成功させるためのヒント

①文化的規範、安全面での懸念、家事や家計を支える人手としての少女の必要性など、少女の教育機会を妨げている障害を取り除く。

②生徒、親、教師、学校側がロータリアンの活動をサポートするようにする。

③CLEプログラムの企画においてアドバイスやリソースを提供できる地元団体と協力する。

上記の内容から明らかなことは、日本のように公的な教育制度が完備され、中学校までが義務教育とされている上に、殆どの子どもたちが高等学校まで進学するという（P2へつづく）

CONTENTS

● ガバナーメッセージ/目次 …… P1
● 国際協議会報告 …… P2
● G9 IM報告 …… P3
● G4 IM報告 …… P3
● G10・11 合同IM報告 …… P4
● IA日韓親善歓迎式の報告 …… P4
● 2016-17年度ガバナー予定者決定のお知らせ …… P5
● 三次RC社会奉仕事業報告 …… P6
● 会員増減・出席率 …… P7
● 新入会員紹介/物故者への哀悼/文庫通信/奥付 …… P8

（表紙より）先進国では、基本的教育向上のための活動分野は殆ど存在しないということです。また、日本のように非識字者が殆どいない先進国では、識字率向上のための活動分野も同様です。そうしますと、このような活動は、発展途上国で実施されるべきであります。そして、そのための財源としては、ロータリー財団の新地区補助金を使うという方法もありますが、やはりグローバル補助金を使うか、またはクラブ独自の資金を使うということが中心になると思います。

ところが、今日本では、出稼ぎや嫁いで来た外国人の親とその子どもたちの日本語教育が問題となっています。この中でも特に問題なのは親たちです。子どもたちは、学校に通えますから、相当程度の日本語教育が公的に受けられます。しかし、その親たちはこのような教育が受けられません。そこで、ロータリーでもこれを支援しているクラブもありますし、これから行おうとしているクラブもあります。ところが、このような親は、母国語では読み書きができるのですから、非識字者ではありません。したがって、ロータリークラブが、これを支援しようとするならば、ロータリー財団の新地区補助金を使うか、クラブ独自の資金を使うしか方法がありません。

しかし、新地区補助金における教育的プロジェクトは、「奨学金しか予定（あるいは、「中心」となる）していない」とする考えや、人道的プロジェクトの採否の基準については、「①人道的支援の必要性とその重要性（ニーズ）、②支援を必要とするだけの逼迫性・急迫性、及び③支援の効果」の3要件を必要とするというような考えのもとでは、新地区補助金の適用は不可能となるのではないでしょうか。

本当に、これで良いのでしょうか。

ロータリアンの皆さん、今月はこの点について大いに考えてください。

国際協議会報告

2013-14年度
国際ロータリー第2710地区 ガバナーエレクト　金子 克也

皆様こんにちは

2014年1月12日朝、福山を出て、成田空港から直行便で10時間のフライトで、アメリカのサンディエゴ着。6日間の国際協議会を終え、19日深夜、無事帰り着きました。気温は暖かく、ホテル内は寒いくらいエアコンが効き、外の方が快適でした。国際協議会の会場は、グランドハイアット・サンディエゴという40階のツインビルのホテルで、世界537地区からガバナーエレクトと配偶者が集まりました。日本からは33組の参加でした。

初日（月）、協議会は、ロンD・バートンRI会長の点鐘で始まりました。次いでゲイリー・ホアン次年度RI会長（台北RC）のテーマ発表が華やかな爆竹の音とともにスクリーンに映し出されました。

“Light up　Rotary”（ロータリーに輝きを！）

ゲイリー・ホアン次年度RI会長の心の師は孔子だそうです。孔子は2000年以上も前に次のように言ってます。“先ずは自分の行いを正しくし、次に家庭を整え、次に国歌を治めてこそ天下が平和になる”と。ロータリアンが大切にしてきた考えと重なるものがたくさんあります。「2014年～15年に、ロータリーに奉仕し、皆でこれらを分かち合い、強力なクラブを作り、地域社会にロータリーの存在を高め、ロータリーに輝きをもたらしましょう！」と。そして具体的に次の3つを掲げられました。

1.会員数130万の達成

2.地元でロータリーデーを開催し、ロータリーを知ってもらい、楽しんでもらう

3.ポリオの撲滅…25年前に始まったこの運動は、現在発生国はパキスタン・アフガニスタン・ナイジェリアの3カ国となりました。この勢いで数年内にポリオを世界から無くし、世界中の人々とポリオの無い世界を誇り、喜びを分かち合おう！

一人ひとりのロータリアンが真摯に考え、Serviceを行い、一人ひとりが輝くロータリアンにならなければならないと痛感いたしました。

2日目（火）から5日目（金）までは、次のようなスケジュールでした。8時半集合、9時から夕方6時まで数回の配偶者との合同全体会議。その間にエレクトのグループ配偶者のグループに分かれての円卓会議…これが毎日です。遅刻・欠席は認められません。厳しいチェックがあります。

3日目にお昼3時間ほど自由時間がありました。久しぶりにホテルの外に出て、お土産を買いに走りました。

4日目の夜は「国際祭りの夕べ」開催。我々日本人は阿波踊りを披露しました。台湾からは龍の舞、韓国はアリラン峠など40組位がお国自慢を披露しました。ブラジルのメンバーは、ものすごい踊りで、次年度国際大会の宣伝しました。遠い遠いサンパウロに行ってみたくなりました。

5日目。今日がいよいよ最終日かと思うと、ハードだった研修がちょっと懐かしくも思えました。この日のフェアウェルパーティで、私達はウガンダとイギリスのご夫婦と一緒のテーブルにつき、友好を深めることができました。

18日午前11時45分サンディエゴ発。19日夕方5時無

事成田に到着しました。福山到着は夜11時半でした。本当に強行軍でしたが、日本の他地区の多数のロータリアンと知り合いになれたこと、さらに、世界中から537名の地区ガバナーエレクトが一同に会し、友好を深めることが出来きました。感動しました。ロータリーでは、120万人と友人になることが出来るといううたい文句を体験することが出来ました。誠に嬉しい体験でした。ロータリアンというだけでお互いにすぐ知己のような気持ちになれます。世界には本当に大勢の仲間がいるのですね。皆様も、世界各地の人々と知り合えるロータリアンの集いに参加してみてはいかがでしょうか？きっと得るものがあると思います。

遅れているもう一つのお土産も近日中に到着予定です。お土産のお礼の言葉を聞く度に、旅の感動が蘇ってまいります。旅の余韻に浸ることが出来ます。

皆様一人ひとりがServiceを学び、ロータリーをエンジョイし輝いてくださることを心から願っています。

“一路平安の願い”ありがとうございました。

2710地区 グループ9 インターシティーミーティング報告

2013-14年度
国際ロータリー第2710地区 グループ9 ガバナー補佐　元廣 清志

国際ロータリー第2710地区グループ9インターシティーミーティングが、広島空港、因島、三原、尾道、瀬戸田、竹原、尾道東の7クラブ240名の登録を受け、尾道東ロータリークラブのホストで、尾道西山別館で開催されました。当日は天候にも恵まれました。

第2710地区沖田哲義ガバナーはじめ、第2710地区財団伊賀訓之委員長、小倉國雄ガバナー随行幹事、次年度グループ9ガバナー補佐、空港ロータリークラブ森崎正治様のご臨席を得て、第二部「環境問題について」、環境ジャーナリスト富永秀一講師をお迎えし、開催しました。

開会式に続いてのフォーラムでは、「ロータリー財団夢計画」について伊賀訓之委員長を講師としてお話をいただき、尾道東ロータリークラブ三宅会長のコーディネーターで、各クラブの会長さん全員がパネラーとしてパネルディスカッションが行われました。今年度を振り返り、次年度からの取り組みについて活発なディスカッションが繰り広げられました。

続いて第二部では、環境ジャーナリスト富永秀一講師に「環境問題について」と題して、地球的環境問題から日常的環境への配慮などご講演をいただき、ショッキングな内容も含まれ、RIの奉仕活動とR財団の補助金活動を一体的にとらえ、環境問題とも合わせたロータリー活動の取り組みを試み、感動のうちにミーティングを終えました。

閉会式では、沖田ガバナーのロータリー財団の今後の進む道筋をお示しいただき、大変有意義な会となりました。

続いての交流親睦会では、それぞれの思いがはじけとぶ盛り上がった楽しい会となり、皆さんにも楽しんでいただけたインターシティーミーティングとなったと思います。

関係者の皆様に心よりお礼を申し上げます。

グループ4 インターシティーミーティング報告

2013-14年度
国際ロータリー第2710地区 グループ4 ガバナー補佐　平村 紀夫

2014年2月8日（土）、グループ4 IMを218名のご登録をいただき、遠石会館にて開催致しました。基調講演の講師にRI第2520地区 気仙沼南RC 小野寺様、澤井様をお招きし、来賓には気仙沼南RC 熊谷会長夫妻をはじめ6名のメンバー、RI第2710地区より沖田ガバナー、岡田パストガバナー、田村パストガバナー、東ロータリー財団資金推進小委員長、グループ5より金井ガバナー補佐、福田ガバナー補佐幹事、田村元地区代表幹事、柳井西RC 沼田幹事、グループ4西本次年度ガバナー補佐にご出席いただきました。

まず沖田ガバナーよりご挨拶を頂いた後、永年地域社会に貢献された徳山RC野間会員へ「不我欺園（ふがきえん） 秋の収穫祭（芋堀りと昼食）」に関してガバナーより感謝状の贈呈式があり、14：20より気仙沼南RC 小野寺「絆」委員長（この委員会は2011年9月に設立）と澤井会員による「東日本大震災とロータリー」と云う演題で約50分の基調講演をしていただきました。プロジェクターで大震災の様子を拝見させていただき、また皆様のご苦労、大変心が痛むお話をしていただいた事、感謝しております。

基調講演の後、徳山、周南西RC合同ゴルフコンペ「拙速会（せっそくかい）」の参加者から集めた義援金（70万円）とグループ4の5クラブ合同ゴルフ大会にて集めた義援金（約5.5万円）を一緒にお持ち帰

り願い、今後の復旧、復興等に役立てていただく事と致しました。

15：40より本会議を始め、第1部は、地区ロータリー財団アワーとし、東ロータリー財団資金推進小委員長より、地区の財団運営等のお話を約30分して頂きました。第2部はクラブ活動状況報告会とし、徳山、徳山東、光、徳山セントラル、周南西RCの順番で各クラブの状況報告の発表をしてもらい、その後、質疑応答を行いました。

その後、会場を変えて懇親会を行い、最後に「手に手つないで」を歌い楽しい懇親会も終わり、最後に当日会場にて設置しておりました募金箱を集計し（約17万円）、この募金も気仙沼へお持ち帰り願いました。

最初の沖田ガバナーのご挨拶で「このIMは対外奉仕がテーマですかね」と言われておられましたが、まさにその通りのIMであったのかなと思っております、当日ご参加いただきましたロータリアンの皆様、そしてこのIMの開催に関して、多大なご協力、大変ありがとうございました。

第2710地区 G10 G11 合同インターシティー・ミーティング

2013-14年度　国際ロータリー第2710地区
グループ10 ガバナー補佐 原田 隆史　グループ11 ガバナー補佐 高橋 敏行

国際ロータリー第2710地区 グループ10・11（総会員数488名）の合同インターシティー・ミーティングを、テーマとして「新しい奉仕活動への挑戦」と掲げ2月11日、福山ニューキャッスルホテルにて開催いたしました。

御来賓として、福山市長 羽田皓様、RI第2710地区ガバナー 沖田哲義様、元RI理事 松本卓臣様をはじめ、多くのご来賓のご臨席をいただきました。

本年度のRIテーマとしてロンD・バートンRI会長は「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」と掲げられました。そしてRI会長の強調事項のひとつに「R財団を通じた人道的奉仕の充実」が明記されています。

本年度は、未来の夢計画の実施年度でございます。そしてR財団の種々の補助金等の内容も変更になり、地区補助金も新地区補助金として、昨年の3月末までに多くのクラブが素晴らしい内容の奉仕プロジェクトを実践する為、新地区補助金の申請をいたしましたが、残念なことに申請クラブの約半数のクラブが不採用となりました。不採用になった申請内容は何が問題とされたのか、そして採用された申請内容と異なる所はどこにあるのか、そして他地区（パイロット地区）との違いはどこにあるのか、今年度の申請締切日まで後僅か、今年度は多くのクラブが申請をされて、全てのクラブが採用されます様、G10、11のクラブ全体で協議そして勉強する事といたしました。

プログラムの中のパートⅠでは、未来の夢計画の実施年度にあたり、グループ10・11から4クラブの代表の方々に奉仕プロジェクトの実施状況を発表していただきました。パートⅡでは、7クラブのパネリストの方々に、パネルディスカッションで新地区補助金、奉仕プロジェクト、その他についてRLI方式で多くの貴重なご意見や問題提起等、熱のこもった発言をして頂く事ができました。

今回のインターシティー・ミーティングが、参加者全員で新しい奉仕活動のあり方を考える機会となり「新しい奉仕活動への挑戦」、これからのロータリー活動の一助になること祈念して閉会いたしました。

IA日韓親善歓迎式の報告

2013-14年度
国際ロータリー第2710地区 インターアクト委員長 岡田 健

IAの日韓交流事業は、1983年以来、国際ロータリーの姉妹関係にある第2710地区と第3690地区の間において、相互の高校生によるホームステイをおこなうことで継続しております。31回目の本年は、1月25日、山口市湯田温泉のホテル「西の雅 常磐」にて、歓迎式を行いました。

第2710地区からは沖田哲義ガバナー、藤井好夫次年度IA委員長をはじめ、奉仕プロジェクト、青少年奉仕などの地区委員8名と提唱クラブロータリアンなど7名、そして担当幹事高校（誠英高校）教師松田洋子先生をはじめ指導教師8名で臨みました。第3690地区からは申東成IA委員長をはじめ3名と引率指導教師2名が参加されました。また高校生は、誠英高校・防府商工・野田学園・柳井商工・高川学園・宇部フロンティア大付属高・サビエル高・徳山高専から26名、韓国からは14校36名が参加されました。このほか、ホストファミリー、地区事務局、通訳など100名を超える盛大な歓迎式を行うことができました。

歓迎式が終わりますと、それぞれのステイ先に受け入れられ、彼らにとってわくわくする一夜を過ごします。たった一晩ですが、若い彼らにとってかけがえのない時間があるようで、翌日の集合時間（新山口駅コンコースに9時集合）には、泣きながら別れを惜しむ光景が繰り広げられます。写真を撮り、アドレスを交換し、そして、ホストファミリーとの惜別のシーンがあり、私たちもこの瞬間にIA事業に携わって良かったと感動致します。なにより無事に韓国側引率者に引き継げたことで安心いたしました。

今回苦労したことは、前回よりも来日希望者が大幅に増加（昨年比9名増）し、受け入れを予定していた高校側のキャパシティをオーバーしてしまったことです。このため、サビエル高校教師に2名、防府北クラブに1名、下関東クラブに5名のステイを対応いただきました。IA事業本来の形である高校生自宅でのステイ交流という意味では物足りないと思わないでもありませんが、限られた時間の中で、迅速に対応いただいたおかげで今回の受け入れが可能となり、関係者各位には感謝申し上げる次第です。規格外のステイ先での対応は様々な工夫があり、十分対応していただいたと聞き及んでおります。（下関では、韓国語サークルの大学生が交流会を企画していただいたようです）問題点につきましては今後の年度でも想定されることですから、整理して申し送ることと致しました。

日韓関係が複雑な様相を示す中、意欲をもって来日してくれた韓国の高校生たちと、彼らを歓待してくれた日本の高校生たちが、新しい日韓関係を築いてくれることを確信しております。そして、これから3月の韓国訪問に向け、今度は日本の高校生たちがわくわくすることでしょう。地区の事業としては、予算という縛りはありますが、希望者は全員参加させてあげたいという親心でいっぱいです。そして、参加したインターアクターを通して、次の世代のインターアクターへのより大きな引き継ぎがなされればと願ってやみません。提唱クラブの皆様、地区の皆様、今後ともIA事業にご理解とご協力をお願い申し上げます。

国際ロータリー第2710地区
2016-17年度ガバナー予定者決定のお知らせ

2014年1月6日、当地区ガバナー指名委員会は、国際ロータリー細則第13条13.020により2016-17年度ガバナー候補者として田原 榮一氏（広島中央RC会員）を推薦し、その旨細則第13条13.020.6により 地区内会員に公表致しました。

その後、2週間の期限までに対抗候補者の推薦がございませんでしたので、細則第13条13.020.10により田原 榮一氏を国際ロータリー第2710地区2016-17年度ガバナー予定者[注)]として決定致しましたことをご通知申し上げます。

注）2013年規定審議会の決定に伴い、現時点では「ガバナーノミニーデジグネート」という呼称となり、2014年7月1日より「ガバナーノミニー」となります。

2016-17年度ガバナー予定者 略歴

田原 榮一（たはら えいいち）

所属クラブ	広島中央ロータリークラブ	
生年月日	1936年7月19日	
職業分類	医学教育	
学歴	1968年3月	広島大学大学院医学研究科病理学専攻終了
職歴	1978年6月	広島大学教授（医学部病理第一講座）
	1985年10月	広島大学評議員
	1996年4月	広島大学医学部医学科長併任
	2000年4月	広島大学名誉教授
主公職	1992年4月	財団法人広島がんセミナー専務理事
	1998年4月	第87回日本病理学会総会会長
	1999年4月	財団法人広島がんセミナー理事長
	1999年9月	第58回日本癌学会総会会長
	2001年2月	カリフォルニア大学サンディエゴがんセンター客員教授
	2001年9月	財団法人放射線影響研究所（日米共同研究機関）常務理事・研究担当理事
	2006年9月	財団法人放射線影響研究所将来構想に関する上級委員会委員
	2013年4月	公益財団法人広島がんセミナー理事長
ロータリー歴	1981年7月7日	広島中央ロータリークラブ入会
	2000-01年度	会長エレクト
	2002-03年度	会長
	2008-09年度	グループ7 ガバナー補佐　マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
	2009-11年度	RLI2710分科会研修 —ディスカッションリーダー・アドバイザー
	2011年6月30日	国際ロータリー第2710地区 クラブ・ビルダー賞受賞

防災意識啓発フェア大成功！！
三次ロータリークラブの社会奉仕事業

2013-14年度
国際ロータリー第2710地区 奉仕プロジェクト委員会 社会奉仕部会長　**青木 貴央**

三次RCは、10月26日（土）・27（日）の2日間、県立みよし公園で開催されたみよし商工フェスティバル会場でクラブ主催の防災意識啓発フェア～その時あなたはDOする～を開催。約3,000名（総来場者数約3万人）の市民が来場し、関心を寄せてくださいました。

この事業は、沖田ガバナーが提唱された「新しい奉仕活動への挑戦」というテーマに丸田会長が同感し、会長エレクト時に事業計画に取り入れ、早い段階でクラブの奉仕プロジェクト委員会で対応したものです。並行して地区補助金申請の準備はしましたが、アンケートへの参加者を得るために企画した来場者参加記念品等が補助金基準に該当しないとの指定を受けて取り下げをしたという経緯もありますが、私たちが目指した方向性を変えることなく、当初予算の範疇で実施出来たので満足しています。補助金については良い勉強の機会でしたので、次年度への課題として取り組んでいければと思います。

フェアの開催目的は、近年の天候異常や巨大地震等の発生が必至といわれている現在、安全・安心な地域は基本的にないという認識をもってもらおう、そして自分の安全は自分で確保しておく「住民自助」への意識啓発、また、自分の所は安全だから関係ないというのではなく、受け入れるという「国民共助」の意味を感じてもらう第一歩として企画しましたが、防災に対する概念は生活そのものであることから、具体的には災害体験を柱にという方向で計画準備したものです。

まず地域の自治体、次に消防署の協力を取り付け、今回の目玉の一つ、地震が体験できる「起震車」の予約（広島市消防局）をとり、消防署からは火災時の煙から避難体験する「スモークハウス」を、自衛隊は「災害派遣用ジープ」の展示、国土交通省からは「豪雨体験機」をということになりました。また、それぞれの官庁から災害に対する支援映像や防災資料を展示してもらいました。

三次RCは、会員企業で災害への情報や取り組み方等をパネル展示したり、100円ショップで揃う防災用品の展示、防災食糧品の乾パンの詳しい情報を加えた試食付廉価販売をするなどし、様々な質問を受けて対応に忙しかったようです。

いろんな防災体験をしたあと、三次RCが作成した防災意識アンケートに協力してもらい、クラブが用意した多機能ダイナモラジオライトが抽選で当たると、歓声があがっていました。

この参加者アンケートの分析はクラブの奉仕委員会で取り組み、総評を加えて資料とし、三次市、消防署、国交省、自衛隊からの要望もあることからお渡しする予定です。

いずれにしても初めてのことで、最初はどれだけ関心を持ってくれるものかと心配していましたが、集客が一定程度見込まれるイベント会場で天候にも恵まれたこともあり、多くの市民が立ち寄ってくれました。各ブースも大賑わいで、忙しい所では昼食もままならなかったようでした。連日にわたる奉仕プロジェクト委員会の会合の成果が報われたような社会奉仕事業でした。

現在進めているのは、アンケートのまとめと次回の開催形態の姿づくり、つまりいつまでもRCが主催するのではなく、社会ニーズの掘り起こしと事業の段取りをRCが行い、次回は他団体への移行の根回しをしています。楽しいこと、やってみたいこと、みんなのためになることなら、協力は得られると思っています。

そうはいっても、問題点も多々ありましたので、詳しくは遠慮なくお問い合わせください。メールで回答します。

国際ロータリー第2710地区 2013-14年度　74RCの会員増減・出席率　2014年1月度

グループ	クラブ名	例会数	出席率（%） 当月	出席率（%） 平均	会員数 年度初(7/1)	当月 末日	当月 内女性	本年度 入会者	本年度 退会者	本年度 増減
グループ1	長　門	4	89.91	92.28	32	31	5	1	2	-1
	下　関	3	78.72	82.51	47	47	2	3	3	0
	下関中央	4	85.72	80.49	30	27	4	1	4	-3
	下関東	4	85.43	85.66	46	49	0	6	3	3
	下関北	4	90.4	93.21	40	42	0	3	1	2
	下関西	4	80.92	82.58	38	37	1	1	2	-1
	油谷湾	3	100	99.45	13	12	0	0	1	-1
計			87.3	88.03	246	245	12	15	16	-1
グループ2	萩	4	93.29	93.45	51	52	0	2	1	1
	萩　東	4	100	99.45	22	21	0	0	1	-1
	美　祢	3	79.76	77.03	26	25	0	1	2	-1
	小野田	4	82.92	84.83	41	41	2	2	2	0
	宇　部	4	87.18	88.97	49	52	2	5	2	3
	宇部東	4	64.88	71.43	17	16	2	0	1	-1
	宇部西	4	91.17	91.74	53	52	1	3	4	-1
計			85.6	86.7	259	259	7	13	13	0
グループ3	防　府	4	88.68	89.31	51	53	0	5	3	2
	防府北	3	76.9	80.34	20	19	2	2	3	-1
	防府南	3	80.18	80.35	33	37	8	4	0	4
	山　口	4	93.55	94.8	55	57	3	3	1	2
	山口県央	4	94.12	95.51	32	34	1	2	0	2
	山口南	4	89.1	86.03	38	39	4	2	1	1
計			87.09	87.72	229	239	18	18	8	10
グループ4	光	2	94.19	91.52	48	46	0	1	3	-2
	周南西	4	93.46	94	43	45	5	2	0	2
	徳　山	4	97.89	95.51	45	49	1	6	2	4
	徳山セントラル	3	89.25	86.61	31	31	1	1	1	0
	徳山東	4	96.7	96.11	53	53	0	0	0	0
計			94.3	92.75	220	224	7	10	6	4
グループ5	岩　国	4	79.07	77.92	62	62	0	4	4	0
	岩国中央	4	91.25	89.45	40	41	3	2	1	1
	岩国西	4	86.22	85.17	56	55	3	3	4	-1
	柳　井	4	100	99.52	33	33	2	4	4	0
	柳井西	4	97.96	98.19	28	29	2	3	2	1
計			90.9	90.05	219	220	10	16	15	1
グループ6	広　島	4	98.69	99.48	106	120	0	14	0	14
	広島安芸	4	96.85	98.08	39	40	2	1	0	1
	広島安佐	4	89.29	86.94	20	21	1	2	1	1
	広島東	4	98.86	98.34	90	92	4	5	3	2
	広島北	4	100	100	80	85	0	5	0	5
	広島陵北	4	100	98.91	46	52	2	6	0	6
	大　竹	4	91.76	90.98	31	34	0	3	0	3
計			96.49	96.1	412	444	9	36	4	32

グループ	クラブ名	例会数	出席率（%） 当月	出席率（%） 平均	会員数 年度初(7/1)	当月 末日	当月 内女性	本年度 入会者	本年度 退会者	本年度 増減
グループ7	広島中央	3	100	99.94	69	70	8	5	4	1
	広島廿日市	4	83.65	90.74	37	37	1	0	0	0
	広島城南	4	97.81	98.55	55	57	2	2	0	2
	広島南	4	99.41	99.59	89	91	0	2	0	2
	広島東南	3	100	100	86	86	9	3	3	0
	広島西南	4	100	100	57	63	4	7	1	6
	広島西	4	100	100	78	79	0	3	2	1
計			97.27	98.4	471	483	24	22	10	12
グループ8	江田島	4	93.43	91.36	19	19	0	1	1	0
	東広島	4	100	99.67	30	31	2	1	0	1
	東広島21	3	74.07	81.68	18	17	4	0	1	-1
	呉	4	87.16	91.16	68	70	1	3	1	2
	呉　東	4	91.84	92.17	33	28	0	1	6	-5
	呉　南	4	87.72	91.48	55	54	4	2	3	-1
	西　条	4	100	100	40	41	1	1	0	1
計			90.6	92.5	263	260	12	9	12	-3
グループ9	広島空港	4	84.21	84.85	21	20	3	0	1	-1
	因　島	4	87.39	87.83	24	27	1	3	0	3
	三　原	3	94.71	93.72	63	65	2	2	0	2
	尾　道	4	85.24	85.73	70	74	3	5	1	4
	尾道東	3	92.05	90.69	50	50	0	1	1	0
	瀬戸田	4	87.5	87.5	7	8	0	1	0	1
	竹　原	4	90.91	89.96	35	33	4	0	2	-2
計			88.86	88.61	270	277	13	12	5	7
グループ10	府　中	3	79.76	84.28	33	32	0	0	1	-1
	福　山	3	95.54	96.17	74	79	0	9	4	5
	福山東	4	93.45	90.32	50	50	3	2	2	0
	福山丸之内	3	96.97	98.02	34	33	1	0	1	-1
	鞆の浦	3	95.65	80.85	27	23	0	0	4	-4
	福山REC2710	3	98.81	98.04	27	28	4	4	3	1
計			93.36	91.28	245	245	8	15	15	0
グループ11	福山赤坂	3	80.82	74.93	42	43	4	1	0	1
	福山北	4	96.2	97.03	46	47	0	3	2	1
	福山南	4	83.91	83.45	58	62	2	4	0	4
	福山西	4	93.75	94.5	38	40	2	2	0	2
	松　永	3	91.16	90.51	46	49	2	3	0	3
計			89.17	88.08	230	241	10	13	2	11
グループ12	吉　舎	4	98.53	98.24	17	17	0	0	0	0
	三　次	3	78.63	77.53	40	39	0	1	2	-1
	三次中央	3	92.42	93.38	44	44	5	0	0	0
	庄　原	4	93.57	91.41	35	35	4	1	1	0
	東　城	4	80.95	86.56	21	21	1	1	1	0
計			88.82	89.42	157	156	10	3	4	-1
第2710地区計			90.56	90.56	3221	3293	140	182	110	72

新入会員紹介

渡辺　晋
下関RC
2014年1月6日
生命保険

畑中　重人
下関西RC
2014年1月8日
経営相談

橋本　忠直
宇部西RC
2014年1月14日
港湾運送業

萩原　賢一
徳山RC
2014年1月23日
輸入車販売

藤重　英格
岩国中央RC
2014年1月8日
広告代理業

角田　浩
柳井西RC
2014年1月9日
建物保守サービス

木本　俊一
柳井西RC
2014年1月9日
文具・事務用品

松田　崇裕
広島RC
2014年1月14日
電気器具配布

村田　和隆
広島RC
2014年1月14日
建築機材リース

川端 ひとみ
広島陵北RC
2014年1月15日
電気機械器具製造

佐藤　智之
広島陵北RC
2014年1月15日
ゴルフ場経営

権田　文彦
大竹RC
2014年1月28日
広告宣伝

宮崎　真
広島西南RC
2014年1月7日
印刷業

秋貞　匡宏
江田島RC
2013年1月23日
信用金庫

栗原　将司
尾道RC
2013年12月6日
貯蓄銀行

桑田　政文
尾道RC
2013年12月13日
海運業

池田　寛
尾道RC
2014年1月10日
鉄鋼配布

河原　敏彰
福山赤坂RC
2014年1月8日
通信事業

松葉　和治
福山北RC
2014年1月10日
都市ガス供給

村上　泰宣
福山南RC
2014年1月9日
鉄鋼販売

佐川　精
東城RC
2014年1月8日
不動産管理及び造園業

謹んで追悼の意を表します

2014年1月28日ご逝去（享年77歳）

■ロータリー歴
2010-11年度 副会長
会員増強理事他各部門理事
委員長歴任功労者
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

■職業分類
紙卸売業

広島西南RC
故 **田渕 昌孝** 殿

2014年2月14日ご逝去（享年71歳）

■ロータリー歴
1997-98年度 幹事
2002-03年度 副会長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者マルチプル（第3回）

■職業分類
石灰製品製造

広島RC
故 **岡本 與吉** 殿

文庫通信 317号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして 1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDFもご利用いただけます。ホームページの「ロータリー文庫について」欄もご覧ください。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介をいたします。

■ロータリー最近の文献より（2）

『奉仕の理想』をめぐって その2	本田　博己	2013	4p	（D.2840月信）
『四大奉仕』がどうして『五大奉仕』になったのか？	本田　博己	2013	3p	（D.2840月信）
『職業奉仕』はロータリーの根幹か？	本田　博己	2013	4p	（D.2840月信）
地区大会 その1～3	深川　純一	2013	3p	（純ちゃんのコーナー Part Ⅻ）
ロータリーの歴史年表	諏訪　昭登	2013	7p	
JUSTICE in The ROTARY ロータリーの正義	田渕水作夫	2013	69p	
あかあかや あかあかあかや	市川伊三夫	2006	2p	（ガバナー所感集）
近頃の世相に想うこと	市川伊三夫	2006	2p	（ガバナー所感集）

［上記申込先：ロータリー文庫］

国際ロータリー日本人RI 理事と日本ロータリー 93年の流れ	前岡　志郎	2013	8p	

［申込先：前岡志郎　FAX（0977）26-1444］

ロータリー文庫
〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL：(03)3433-6456　FAX：(03)3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館：午前10時～午後5時　休館：土・日・祝祭日

国際ロータリー第2710地区事務局

所在地　〒732-0822　広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島6F
TEL：082-506-0055　FAX：082-263-2323　E-mail：info@ri2710.com　URL：http://ri2710.com/